

べっぷ



©Team Beppyon

No.164
2023.2.1

市議会だより

子どもが自立した個人として、ひとしく健やかに
成長することができる社会の実現に向けて

CONTENTS

- P2 主な議案の概要
- P3 議決結果
- P4 議案質疑・常任委員会審査
- P5~11 一般質問(18名が市政を問う)
- P12 編集後記 ほか



令和4年第4回定例会で25の議案を可決!

12月1日から12月16日までの16日間にわたり開催された今定例会では、予算関係5件、条例関係8件、その他7件の議案が上程されました。

また、最終日には市長より追加議案として、予算関係1件、人事案件1件、報告が1件さらに議会より、議員提出議案2件、議員派遣1件が上程されました。

市長提案理由では、別府海浜砂湯を廃止することに伴い、条例の一部改正に加え、物価高騰の対策として、

高齢者を対象とした交通系ICカード配布の説明があり、「空き家対策に要する経費」「観光客誘致・受入に要する経費の追加額」等の関連議案については、議案質疑で活発な議論が行われました。

採決においては、1件の議案について一部議員から反対する旨の意思表示がありましたが、賛成多数で原案のとおり可決等すべきものと決定しました。

～主な議案の概要～

● 一般会計補正予算(第9号)12月定例会 ※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています

観光客誘致・受入に要する経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,800万円

別府の旅に付加価値を与え、観光客の満足度を高めることにより、リピーターの獲得を図るため、令和5年1月から3月までの間、市内対象宿泊施設に宿泊されたお客様を対象にキャンペーンを実施します。

空き家対策に要する経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 542万円

楠銀天街にある所有者不存在的空き家が老朽化により倒壊の恐れがあるため、空家等対策特別措置法に基づき、略式代執行により家屋を解体します。

● 一般会計補正予算(第10号)12月定例会 ※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています

出産・子育て応援に要する経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1億1,099万円

出産・子育て応援金を給付します。(妊婦1人当たり5万円、こども1人当たり5万円)

地域消費喚起プレミアム商品券発行に要する経費・・・・・・・・・・・・・・・・ 4億2,200万円

県の補助金を活用し、1冊5,000円(6,500円相当)の商品券を紙：12万冊、電子：8万冊の計20万冊を発行します。

● 条例の一部改正

別府市役所事務分掌条例の一部改正について

こども家庭庁の創設等により、こども政策を所掌する部を設置することに伴い、条例を改正します。

● その他

住居表示を実施する市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法について

住居表示を実施する市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法を定めることについて、住居表示に関する法律により、議会の議決を求めるものです。

● 議員提出議案

別府市議会委員会条例の一部改正について

別府市議会会議規則の一部改正について

新型コロナウイルス感染症のまん延や災害の発生、委員の出産、育児、疾病等により参集が困難な場合における委員会の開会方法として、オンラインによる方法を定めることに伴い、条例及び会議規則を改正します。

第4回定例会における議案等の審議結果など

議案番号	件名	議決結果	議案番号	件名	議決結果	
議第86号	令和4年度別府市一般会計補正予算(第9号)	原案可決 (全会一致)	議第99号	動産の取得について	原案可決 (全会一致)	
議第87号	令和4年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		議第100号	議決事項の変更について		
議第88号	令和4年度別府市振興事業特別会計補正予算(第2号)		議第101号	指定管理者の指定について		
議第89号	令和4年度別府市地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)		議第102号	住居表示を実施する市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法について		
議第90号	令和4年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		議第103号	公有水面埋立てに関する意見について		
議第91号	別府市役所事務分掌条例の一部改正について		議第104号	市長専決処分について		承認
議第92号	別府市職員の定年等に関する条例等の一部改正等について		議第105号	市長専決処分について		
議第93号	特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について		議第106号	令和4年度別府市一般会計補正予算(第10号)		原案可決 (全会一致)
議第94号	別府市職員の給与に関する条例等の一部改正について		議第107号	別府市固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて		同意
議第95号	別府市立学校職員の給与等に関する条例等の一部改正について		報告第12号	市長専決処分について		報告
議第96号	別府市勤労者研修センターの設置及び管理に関する条例の廃止について	議員提出議案第12号	別府市議会委員会条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)		
議第97号	別府市有温泉施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について	議員提出議案第13号	別府市議会会議規則の一部改正について			
議第98号	別府市上下水道局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について		議員派遣の件			

賛否の分かれた議案等賛否一覧表

議案番号	件名	議決結果	党派・議員名																					
			自民党議員団 10人							公明党 4人		自民新政会 3人		市民クラブ 3人		日本共産党議員団 2人		単行財政 運営 1人						
			首藤正	野口哲	松川峰	黒川愛	松川三	安部一	手束貴	阿部真	日守敦	梶田貴	堀本博	市原隆	荒金卓	六井宏	山本一		森野大	小野正	加藤康	森山徳	三重義	平野忠
議第97号	別府市有温泉施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」(採決に加わらない為)、法律により採決に加われない議案は「除」



議案質疑



議案質疑の詳細はHPにて掲載しています。

今定例会の議案質疑では、執行部が提出した令和4年度各会計補正予算や条例などの議案に対し、3名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

議第86号「令和4年度別府市一般会計補正予算(第9号)」について

空き家対策に要する経費について

問 空き家対策に要する経費として、542万8,000円が追加されているが、今回の略式代執行の経緯とその内容について。

答 今回の経緯ですが、自治会により管理不全の空き家の情報をいただき、所有者の調査を行いました。相続人も不存在であることが判明しました。こうした所有者の特定ができず行政が解体などの措置を行う場合が略式代執行になります。費用につきましては、行政が負担をしますが、所有者が判明した場合は、費用を請求します。

問 空き家対策で市の負担を軽減する必要があると考えるが、国の補助などないのか。また、今後の対策は。

答 今回は緊急的な対応が必要であるため補助金を活用できませんでしたが、空き家対策総合支援事業として、代執行にかかる費用のうち、回収不能なものについての支援制度があり、補助率としては、2/5となっております。

今後の対策として、財産管理人制度を活用するなど、関係機関とも協議を進めながら計画的に空き家対策に取り組んでまいります。

観光客誘致・受入に要する経費について

問 市内の対象宿泊施設とは、どのような施設なのか。

答 旅館業法または、住宅宿泊事業法に基づく事業者で、参加を希望する事業者が運営する施設を想定しています。

問 抽選への応募企画は。

答 インターネットのほか、応募用紙による方法も検討しています。

問 キャンペーンの広報や周知の方法は。

答 市のHPやLINEのほか、主な集客対象になる福岡県内のWEBサイトへのリンクなどで周知を想定しています。

問 当選者はどのくらいの人数になるか。

答 1月から3月の下旬まで各月で約500人。合計で1,500人を予定しています。

常任委員会審査

会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。

● 総務企画消防委員会

住居表示を実施することについて、委員から住居表示後の住所や郵便物の配達に関する質疑があり、当局から住所はできる限り通称住所の町名を引き継ぎ、建物に順序良く付番すること、また、郵便物は混乱のないよう郵便局と情報共有に向けた協議をしている旨の答弁がありました。それに対し委員から市民等への丁寧な説明を求める意見がありました。

● 観光建設水道委員会

楠銀天街沿いにある所有者不存在の倒壊の恐

れのある建築物を空家等対策特別措置法に基づき、略式代執行により解体する事業について、委員から老朽化した危険な空き家問題の解決策等に関する質疑があり、当局から現在、関係各課との庁内会議を行っており、今後、空き家等対策協議会での検討を行い、対策計画の見直しを進める予定との答弁がありました。

● 厚生環境教育委員会

子ども医療費助成対象者の受診件数の増加及び課税世帯の小中学生の通院の一部助成の申請が増加したことに伴う追加額を計上、また前年度事業の精算に伴う国や県への返納金等を計上しているとの説明がなされました。委員から、返納金額が多い理由について質疑があり、当局から、コロナ禍で家計急変した子育て世帯生活支援特別給付金の支給対象者が見込みより少なかったこと等によるものとの答弁がなされました。



一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。12月議会では18名の議員が市当局の見解をただしました。主な内容は次のとおりです。

スマートフォン等で各議員のQRコードを読み取ることで、一般質問の録画中継にアクセスができます。

自民党議員団

あべ いちろう
安部 一郎 議員



「公園・観光行政」について

問 新湯治・ウェルネスツーリズム推進事業の泉源は、民間も含めて検討すると聞いているが、費用がかかるのではないか。また、お湯をくみ上げた場合、実際に出てきている周辺への影響に対し、どう考えているのか。

答 使用する温泉については、余剰の温泉、今あるものを使うことを前提に検討していきます。

問 民業圧迫にならない施設をお願いしているが、どのように考えているか。

答 新湯治・ウェルネスツーリズムを推進することにより、別府市全体への経済効果が期待できるものと考えています。

問 観光地で宿泊施設の送迎や観光バスが止められない駅は別府ぐらいではないか。場所の確保など対策はできないか。

答 利用状況を把握しながら、別府駅前広場は、JR九州が乗り入れの承認を行うためまずは見解を聞きます。

どれだけの宿泊施設が公園に作られるのでしょうか。ホテル・旅館・民泊等の宿泊施設は供給過剰状態です。しっかり現実を把握していただきたい。

公明党

ほりもと ひろゆき
堀本 博行 議員



「市営住宅の管理運営」について

問 2018年3月国交省は入居条件から保証人

を外すよう自治体に要請しているが多くの自治体で保証人規定が残っている。なぜ、公営住宅の保証人を外すよう求めているのかを考えないといけない。時代の流れの中で、非正規雇用や未婚化の影響で、住宅弱者の急増が叫ばれている。一部の地域では、既に保証人規定を廃止しており、保証人がいる世帯といない世帯で徴収率を比較しても、全く影響は無いという結果が出ている。保証人制度を廃止してはどうか。

答 国の通知を契機に、別府市においても連帯保証人を2人から1人に見直したところです。なお、連帯保証人を見つけることができない場合には、家賃債務保証契約の締結をすることで入居を認めております。保証人規定は現在、削除できる状況にはありませんが、今後、全国や県内の状況を確認しながら検討してまいります。

日本共産党議員団

ひらの ふみかつ
平野 文活 議員



「国保税・介護保険料の引き下げ」について

問 国保世帯の平均所得と平均国保税額、平成26年度末と今年度末の基金残高は。

答 平均所得は約93万円、平均国保税は約11万円であり、基金残高は平成26年度末が1万7,000円、今年度は約16億1,759万円の見込みです。

問 市長就任後、国保の基金はため込みすぎだ。来年度は大幅に引き下げるべきでは。

答 来年2月の国保運営協議会答申に基づき条例改正が必要となれば、令和5年3月議会で議案を上程する予定です。

問 別府市は介護保険料も高すぎる。介護保険加入者数、本人非課税者の人数、平均保険料、平成26年度から令和3年度末までの基金残高の推移は。

答▶ 加入者は3万9,030人、本人非課税の人は2万5,156人、1人あたりの平均保険料は5万9,482円。基金は平成26年度末が2億8,961万円、令和3年度末が11億6,387万円です。

問▶ 保険料の大半が低所得の高齢者の年金から天引きされ、市長就任後の基金は4倍に増えている。介護保険料も大幅に引き下げを。

答▶ 令和4年から5年度の動向を見ながら、第9期介護保険計画の中で議論していきます。

自民党議員団

くろき あい いちろう

黒木愛一郎 議員



「今後の子どもの支援」について

問▶ 子どもにとって、家庭が基盤であり子どもと親の成長を支援することは、子どもの未来につながる。今後の子ども支援に関し、市としての大きな方向性は。

答▶ 子どもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、誰一人取り残さず、抜け落ちることのない包括的な支援を目指しています。次年度以降、子ども見守りシステムを構築し、活用する中で見守り続け、支援の必要性が想定される子どもや家庭への早期対応を行います。

問▶ いつの世も子どもは宝です。子どもにツケを残さないことを我々は考えないといけない。市の組織として「こども部」の創設は賛成。創設の意図を説明してほしい。

答▶ 子どもの最善の利益を考え、「こどもまんなか社会」の実現へ向け、子どもの成長を後押しし、独立した部局としてこども支援施策を推進していくものです。

問▶ 「こども部」では、どのように子育て支援に取り組んでいくか。

答▶ 安全で安心して過ごせる多くの居場所を持ち、身体的、精神的、社会的に良好な状態の中で成長できるよう、家庭、学校、関係機関、地域等と一体的に取り組み、更なる子育て支援体制の強化を図ります。



公明党

あな い こう じ
穴井 宏二 議員



「高齢化社会における市民の移動手段」について

問▶ バス路線の廃止や運転免許証の自主返納の増加など、移動手段を持たない高齢者の方などにとって日常生活の交通手段の確保は重要な課題である。どのような課題認識を持っているか。

答▶ 年齢的、身体的理由などで移動手段を持たない、いわゆる交通弱者の移動手段の確保は重要な課題であり、市民のニーズに応じた公共交通サービスの供給度が低い地域については、今後も地域の意見を聞きながら解消へ向けて取り組んでいきます。

問▶ 視察に伺った小郡市は、官民協働の「自治会バス」を運行している。運行ルートは、まちづくり協議会が決定し、運転手はボランティアだが、若干の手当は出ており、運行費は自治会からの負担されるため、利用者にはゼロコインバスとなっている。別府市としても自治会を運行主体とした自治会バスは有効な手段だと思うが検討してはどうか。

答▶ 高齢者の移動支援については、コミュニティバスや乗り合いタクシーなど様々な取り組みを実施しています。小郡市の例も参考にしながら、住民の意向を尊重して事業者と調整し、地域に最適な持続可能性のある移動手段を確保していきたいと思えます。

日本共産党議員団

み ま きょう こ
美馬 恭子 議員



「学校給食と食育」について

問▶ 第3回学校給食運営委員会の中で、食育推進計画の基本方針に関する協議が行われた。委員より「小学校から調理員の姿が見えなくなり、給食を作っている際の匂いがなくなる中でどう食育を進めていくべきか検討する必要がある。」という意見があった市としては、どのように考えているか。

答 学べる調理場、身近な調理場を目指して食育の推進を図ります。新施設では、見学スペースから調理の様子の見学や、多目的室を活用した料理教室の開催、食材が給食として学校に届くまでの流れを説明し、また生産者の思いを動画で視聴するなど食育の機会を作ります。

問 特に幼稚園や小学校低学年への対応は心配である。小さい頃から孤食の子もいて、学校給食は集団で学べる食育としての第一歩だ。幼少期については、もう少し検討するべきでは。

答 食についての相談や様々な情報提供の機会を設け、子どもが家庭や地域と食によってつながるようサポートします。幼稚園や小学校低学年に関しましては、おはなし給食や型抜き野菜を用いた行事食の実施など子どもが楽しめる給食を実施します。

自民党議員団

てつか たかひろ
手束 貴裕 議員



「体育館空調設置事業」について

問 事業の概要と予算規模は。

答 小中学校の体育館20施設、地区体育館等6施設の計26施設の空調設置に向け、取り組んでいます。予算規模は、16億9,000万円としており、緊急防災・減債事業債を活用し財政負担を極力抑制しながら、整備することとしています。

問 設置することに至った経緯は。

答 夏場の学校体育館での体育の授業や地域住民の集会などを行う際、大変熱い中で利用しなければなりません。子どもたちの熱中症対策及び避難所の環境改善対策として空調機器を設置する運びとなりました。

問 他の自治体の整備状況は。

答 全国平均で15%、大分県内では0%です。公立小中学校体育館全部に設置するのは、大分県内で別府市がはじめての取り組みとなります。

問 今後のスケジュールは。

答 整備発注のための仕様書、契約書等各種資料を作成し、年内に公告を予定しており、今年度内には業者選定を予定しています。空調機器の納入があり次第、令和5年夏ごろから令和6年度夏ごろにかけ順次設置していきます。

自民党議員団

のぐち てつお
野口 哲男 議員



「新湯治ウェルネスツーリズム」について

問 ウェルネスツーリズムの定義とその取り組み内容は。

答 ウェルネスツーリズムは心身の健康、生活や社会的環境を基盤とし、自分のライフスタイル等を確立させ自己実現に至る取り組みであり、古くからの湯治文化を継承し、医療・美容・健康をテーマとして、温泉の科学的根拠を蓄積し、官民連携により市全体で取り組み、経済波及効果を生み出すことを目指すものです。

問 市民に対し、説明を行ってほしい。また温泉観光別府の将来像についてどのように考えているか。

答 本市の観光資源を更に磨き上げ、メディアを通じ伝え人材の育成を行います。施設整備等であらゆる観光客の満足を得ること、また、消費を促します。持続可能なものとして観光と市民生活の調和を保ち、基幹産業の観光とあらゆる産業等の発展により稼ぐ力を増強し市民福祉の向上を図ります。また、上質で付加価値の高い別府観光の実現や、満足度の体現を期待し、コロナ禍からの反転攻勢、ウィズコロナに適應した選ばれる観光地を目指します。

自民党議員団

あべ しんいち
阿部 真一 議員



「避難行動要支援者名簿、個人避難計画の作成状況」について

問 平成25年災害対策基本法の改正では災害時の避難において支援を必要とする方を「避難行動要支援者」とし、避難行動要支援者名簿を作成することが市町村に義務付けられたが、別府市の取り組みと現状は。

答 別府市では、避難行動要支援者名簿を作成し、同意を得た方の名簿を事前に地域の関係者へ提供し、対象者の把握や個別計画の作成を進めています。令和4年9月1日現在、避難行動要支援者名簿

掲載者数は5,493名、そのうち名簿情報事前提供同意者数は、2,743名です。

問 令和3年5月の改正では、「個別避難計画」の作成が市町村の努力義務となった。対象者の生活状況に応じた、個別避難計画を作成することが困難な場合、行政として、どのように支援し、計画作成を進めているか。

答 個別避難計画は、当事者自らが作成することが望ましいと考えます。個別の事情によって対応が難しい場合は、地域力をもって作成していただき、それでも難しい場合には、行政が計画作成を支援することとなります。

今後は防災及び福祉の知識を融合させ、行政内部での体制を整え、説明会の開催や市のHPで制度の周知などを推進してまいります。

市民クラブ

かとう のぶ やす
加藤 信康 議員



「インボイス制度」について

問 インボイス制度とはどういうものか。

答 令和5年10月1日から導入される消費税の仕入税額控除を受けるための制度で、この控除を受けるためには、買手側は売手側から発行された仕入れ品などの消費税の適用税率や消費税額などが記載されたインボイスを保存する必要があります。一方、売手側はインボイスを発行するため税務署に登録申請を行わなければなりません。免税事業者である個人事業者等は、インボイスの発行ができないため、買手側は仕入税額控除を受けることができません。インボイスを発行する場合は、同様に税務署に対し、登録申請をする必要があります。

問 免税事業者等に対する広報及び周知について、本市はどのような取り組みをしているか。

答 別府税務署が月1回ほど免税事業者等に対する説明会を開催しており、市報にも掲載しています。また、市と別府商工会議所の共催で別府市内の中小法人、個人事業主を対象とした消費税インボイス制度対応支援セミナー及び個別相談会を開催しています。個別相談会については、毎週月曜日の午前9時から午後5時まで、無料の相談窓口を別府商工

会議所3階に開設し、市内事業者の経営相談等に対応しています。

自民党議員団

まつ かわ しょう ぞう
松川 章三 議員



「別府市景観条例」について

問 別府市は平成20年3月に、市内全域を対象とした「別府市景観条例」を制定している。制定の目的は。

答 別府市の豊かな自然、歴史と文化を持つ温泉地や湯けむりの景観を守り、観光資産として活かし、新たな活力を創出することが目的です。

問 平成21年に「鉄輪温泉地区温泉湯けむり重点景観計画」が策定された。これについて説明を求める。

答 湯けむりと湯治場としての風情が残る景観を守るため建築物の高さ制限を15m、屋根の形状は勾配屋根、外壁等は落ち着いた色彩と制限しています。

問 最近、鉄輪地区は国道500号の歩道拡張や、ホテル・旅館等の建て替えがあり、街並みも変化してきている。景観に相応しくない派手な色彩の看板が見られるが、景観条例に抵触しないのか。

答 屋外広告物法に基づく「大分県屋外広告物条例」の対象であり、色彩の規制はありません。

問 県から屋外広告物事務の一部を権限移譲して、独自に規制することは出来ないのか。

答 権限移譲については、内部での議論や県と協議をしていきます。

自民新政会

もり だい すけ
森 大輔 議員



「別府市が抱える諸課題」について

問 市内で、多くの住民が悩んでいる空き家問題は、特定空き家に認定されず、長期間放置されている空き家がほとんどであることです。大部

分をそういった空き家が占めることに対し、市民の方々が行政に求めている対応や要望について今後の取り組みは。

答 適切な管理を促進するための援助や利活用など、具体的な取り組みを関係課と協議・検討し、地域の活性化につながるような対策を進めていきたいと考えています。

問 コロナ時代の新たな観光の付加価値の創出も大切だが、既存の観光資源の活用はどうなっているか。例えば、樺入口からの由布川峡谷は素晴らしい観光資源であるにも関わらず、平成29年に落石が起きて5年経つが、未だに維持改修工事もされず放置されている。今後、樺入口の由布川峡谷の再開についてどのように考えているか。

答 新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた観光と経済の立て直し等があり、事業優先度を考慮した判断が必要と考えています。

問 亀陽泉一体の整備事業で設置されたポケットパークは、これまでこのスペースを活用した賑わい創出イベントなどの利用実績もない。ここを障がい者や高齢者のための駐車場の拡充などに活用できないか。

答 国の交付金を活用した経緯から、駐車場への用途変更は難しいと考えています。

行財政改革クラブ

いづみ
泉

たけひろ
武弘 議員



「介護人材不足の具体的な対応」について

問 高齢者や障がい者を取り巻く環境は大変厳しく、認知症、孤独死、寝たきり、一人暮らし、行方不明等が増加している。特に認知症の増加は顕著で、令和7年には、高齢者の5人に1人が認知症との推計があるが別府市の見込数は。

答 令和7年には、およそ6,200人程度になると思われます。

問 介護人材不足は深刻な状態となっている。大分県の令和7年の不足数は1,200名だが別府市の不足見込みは。

答 約130名不足する見込みです。

問 あと2年で団塊の世代が後期高齢者になる。このままでは介護を望む人が受けられない。融資制度や運転資金などの支援に前向きに取り組むべきでは。

答 国の財源より補助金を支出しています。

問 国内で人材の確保ができなければ、外国人技能実習生に頼るしかない。技能実習生に市営住宅の提供などを検討するべきでは。

答 事業者等が住宅の提供、確保を行っていることを認識しています。

問 福祉の人材不足の具体的な対策案は。

答 国の大綱に沿いながら、2025年問題に向けて、しっかりと取り組みを進めてまいります。

市民クラブ

もりやま
森山

よしはる
義治 議員



「通園園児置き去り事案、郵便局の行政事務拡大」について

問 令和3年7月に福岡県、令和4年9月に静岡県認定こども園などで通園バスに取り残された園児たちが熱中症により死亡するという痛ましい事件が発生した。市内における送迎バスの現状や欠席時の対応、また置き去り防止対策は。

答 市内には認定こども園1か所、私立幼稚園が5か所あり、送迎車両は全部で14台あります。児童欠席時は、必ず保護者に確認の連絡をしており、命を守るために細心の注意を払いながら、徹底した安全管理をしています。また、送迎バスの運転手についても運行前のアルコールチェックを実施しています。

※国の予算にあわせて12月議会の最終日に令和4年度別府市一般会計補正予算(第10号)で通園バスの安全装置を取り付けるための予算が追加されました。



問▶ 全国に約2万4,000の郵便局がある中で、すでに589の郵便局が住民票の写しや印鑑証明発行などの業務を自治体から引き受けているが、たとえば、別府竹の内郵便局や扇山郵便局の近くには、コンビニがなく不便である。行政事務の拡大について市の見解は。

答▶ 郵便局のDXやデータ活用を通じた地域貢献のあり方などの国の検討状況を注視していきます。

自民党議員団

まつ かわ みね お
松川 峰生 議員



「部活動の地域移行」について

問▶ 中学校の部活動の運営を学校から地域へ移行する準備が進められているが、なぜ部活動の地域移行を進めようとしているのか。

答▶ スポーツ庁、文化庁ともに、深刻な少子化、教員の業務負担等を課題とし、継続してスポーツ・文化芸術に親しむことができる機会の確保、学校の働き方改革の推進による学校教育の質の向上等を目指す姿として、今年度、有識者による地域移行に関する検討会議提言が発表され、別府市内の中学校におきましても、平成24年度2,700人に対して、今年度は2,470人と、10年間で200名以上減少し、チームの存続が難しくなる可能性があります。またクラスの減少に伴い、中学校に配置される教員数が減少すれば、専門的な指導を行える教員を指導者にすることが更に難しくなる可能性がある状況です。

部活動は長い歴史と伝統があり、教育的効果は誰もが認めるところです。更に部活動は生徒の人生に大きな影響を与える学校生活の一環であり、その大切な部活動が地域に移行することにより生徒が不安視することなく安心して部活動に専念できるよう配慮を願います。



自民党議員団

しゅ とう
首藤

ただし
正 議員



「子どもたちの健全育成活動」について

問▶ 子どもたちの健全育成のために社会教育、家庭教育で実施されているクラブの数、団体数、参加子ども数の実態は。

答▶ 12月1日現在、スポーツ推進課が把握しています別府市スポーツ協会に加盟する少年スポーツ団体、及び別府市スポーツ少年団に加盟する団体については、競技種目数は23種、団体数は86団体、参加子ども数は、3,051名となっています。

問▶ スポーツや文化活動等を通じ、子どもたちの健全育成に尽力されている指導者、子ども会、母親クラブ等の団体に敬意を表するところですが、今後、教育委員会は、指導者育成団体等とどの様な連携、指導、支援活動を行うのか。

答▶ 子ども会育成会を始め多くのスポーツ団体や社会教育団体については、これまでも子どもたちの健全育成に尽力いただき、大きな役割を担っていただいています。しかしながら、子ども会の現状は、全国的に少子高齢化や保護者の共働きや子どもたちの多様な居場所等の影響により、団体数の減少や加入率の減少等、多くの問題を抱えています。子ども会をはじめ、社会教育活動は青少年の健全育成に欠くことのできない活動と認識していますので、これからの在り方につきましては、子ども会育成連合会と連携し、課題解決に向けて取り組みたいと考えています。

公明党

あら かね
荒金

たく お
卓雄 議員



「市民手帳の発行終了」について

問▶ 別府市の市民手帳が令和5年版で発行終了になる理由は。

答▶ 発行部数は、10年前の平成25年版では900部、令和5年度版は550部で約39%減少しています。市民手帳・県民手帳を発行している大分県

統計協会が、令和5年度で廃止になり、県民手帳の発行を終了します。今後、別府市が単独で市民手帳を発行するのは、デジタル化が進み、発行部数が減少する中、費用面と業務面の負担が大きいいため、やむなく発行終了の判断をしました。

答 市民手帳には、別府市の歩み(年表)、町内別の人口・世帯数、市営温泉やスポーツ施設など公共施設の料金、地域包括支援センターの地域区分等々、市民にとって身近な情報の記載が多数ある。さらに、大分県の各種統計データも掲載されており、その役立つ情報部分の提供は、別府市オープンデータの中に、デジタル形式で続けるべきでは。

問 別府市のデータ等については、別府市の概要や統計書をホームページ上で情報を発信しています。市民手帳掲載の部分も、内容を整理し、統計資料・記録について発信できるよう努めたいと考えています。

自民党議員団

ひなごあつこ
日名子敦子 議員



「子育て支援」について

問 以前からこどもに特化した部の設置や子育て支援の窓口の一本化をお願いしてきた。今回こども部設置に至った経緯と利点は何か。

答 こども部は令和5年4月1日に創設されるこども家庭庁にあわせ、国により推進されるこども政策に迅速に対応するため設置するものです。また、こども部には母子保健と児童福祉の一体的な支援の提供を行うため、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の機能を備えたこども家庭センターを設置します。このことで、妊娠期からこどもや子育てに関することについてはこども家庭センターが包括的窓口になりますので、相談に来られる方も、どこの窓口で相談すればいいのかと迷うことなくひとつの相談窓口でご相談いただけるようになります。

問 教育や障がい福祉も一緒になって支援していくことが必要と思われるが、今後の計画は。

答 教育委員会や障がい福祉、関係機関とは密に連携をとり支援を行っているところではあります

が、妊産婦、子育て世帯、こどもの誰一人取り残すことなく、相談を受け適切な支援につなぐため、今後も国の動きを注視し取組を進めてまいりたいと考えています。

請願・陳情

どなたでも市議会に請願・陳情することができます。請願とは、国や県・市に対し要望や意見を述べることをいいます。別府市議会に請願書を提出するには別府市議会議員の紹介が必要になります。

詳しくは別府市議会ホームページをご覧ください。また、議会事務局までお問合せください。

なお、令和5年第1回定例会の請願の受付期限は2月15日(水)17時までです。

令和5年第1回 市議会定例会会期日程(予定)

2月24日	議案上程
3月 1日	議案質疑・委員会付託
2日	常任委員会審査
7日	各委員会委員長報告 討論、表決
8~10日	予算決算特別委員会
13~15日	一般質問
16日	一般質問(予備日)
20日	予算決算特別委員会委員長 報告 討論、表決

※日程は変更することがあります。



令和4年度

市民と議会との対話集会



今年度、4つの委員会で3年ぶりに「市民と議会との対話集会」を実施することが出来ました。
各委員会で、様々なご意見をいただき、有意義な対話集会を開催することが出来ました。

※詳細はHPに掲載
しております。



総務企画消防委員会



観光建設水道委員会



厚生環境教育委員会



広報広聴委員会

**本会議を
中継しています**



©Team Beppyo

別府市議会では、市民の皆さまに議会をより身近に感じていただけるよう、ケーブルテレビとインターネット、スマートフォン、タブレット端末による本会議の生中継と録画中継による本会議の放送を行っています。

放送日時

本会議開催日(午前10時から)

放送内容

議案の提案理由説明、議案質疑、一般質問など

放送メディア

● **ケーブルテレビでの中継**
CTBメディアとんぼチャンネルで生中継します。

● **インターネットでの中継**

別府市議会ホームページ

<https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>

[ta.jp/gikai/](https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/)

にアクセスしてお入りください。
(また、全日程終了後、概ね1週間後から約2年間録画中継を放映しています。)

※議会議録は公式記録ではありません。
公式記録は本会議後に調製する会議録となります。



編集後記



日頃より市議会の活動に対しましてご理解とご協力、また様々なご意見を賜り、誠にありがとうございます。

日常生活の中で、生活に不安感を感じておられる方もいらっしゃるのではないかと思います。これらの一つ一つのご意見に丁寧に耳を傾けてまいります。

昨年の秋に、私たち広報広聴委員会と各常任委員会において、市民と議会との対話集会を実施いたしました。お互いに顔と顔を合わせ率直なご意見をいただき、誠にありがとうございました。いただいたご意見は、議会で取り上げ、市民の方へ形としてお伝えしていきたいと思っております。

これからも市民の方へ身近な議会、寄り添う議会として市民生活向上のために全力を尽くしてまいります。

まだまだ寒い日々が続きますが体調管理には十分にお気をつけください。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

別府市議会広報広聴委員会

副委員長 穴井 宏二

No.164 令和5年2月1日

編集：広報広聴委員会

発行：別府市議会

住所 〒874-8511 別府市上野口町1-15 TEL 0977-21-1547

メール sec-cc@city.beppu.lg.jp ホームページ <https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>